

ホームページ作成の基礎解説

第2回 ホームページ作成ソフトウェアを使ってみよう

前回紹介したNetscape Communicatorは入手出来たでしょうか。このソフトのComposerを使って本校の小学校3年生がインターネットのホームページの作成を行っている。それだけ、使い方が簡単と言うわけだ。

(1)Composerを起動する

Netscape CommunicatorのComposer機能を起動するには、簡単には3つの方法が考えられる。

- ①windowsのスタートボタン→プログラム→Netscape Communicator→Composer
- ②Netscape Navigatorでファイル→新規作成→白紙のページ
- ③デスクトップにNetscape Composerのアイコンを作っておく。本校では、児童に使いやすいこの方法をとっている。



(2)文字を入力する

日本語変換を起動し、白紙にワープロと同じように日本語を入力する。日本語変換の起動は、Altキーと半角・全角キーを同時に押す。

(NECの場合は、CTRLとXFER)

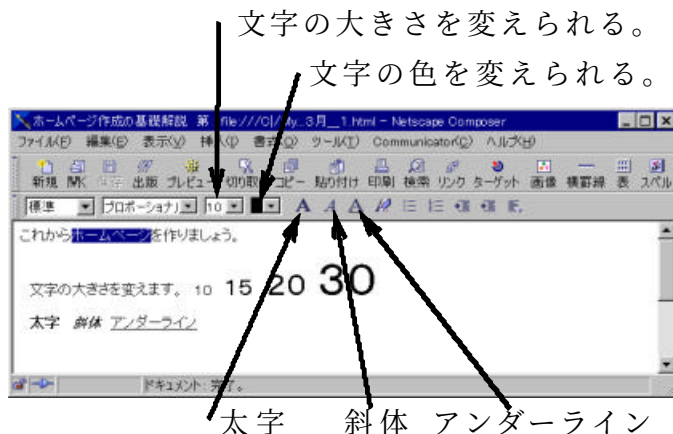
そして、文字を入力するればそれがホームページとなる。ワープロと大きな違いは、カーソルある行より後ろの行にマウスで矢印を移動して、文字を入力しようとしても出来ない。カーソルの移動は、改行とスペースでカーソルでおこなう。

(3)文字の大きさや色を変える

入力した文字の大きさ・色・太さなどを変え、変化をつける。

変更したい文字をマウスで左クリックをしながらなぞり、選択する。(文字が反転している部分)その後、目的の作業を選択する。

マウスの左クリックで選択。



子ども達がカーソルを移動するのにスペースを使うが、表示すると文字の位置がおかしくなることが多い。例えば左のように作っても、ブラウザで表示すると下のようになってしまう。これは見る側によってブラウザの横幅が違うからであ



る。次の行に入力 したい場合は、改行で移動する。

※ここをクリックするとアイコン等が表示される。

(3)保存・表示 (プレビュー) する。

どのように表示されるか試してみる。初めに、ホームページ用のフォルダーを用意する。プレビューのアイコンをクリックする。このアイコンが表示されていない場合は、上記の※を行う。

すると保存するかどうか聞いてくるので保存を選択する。ホームページ用のフォルダーを作っておきそこに "index" というファイル名で保存する。

次に、ページの表題を聞いてくる。ここで入力した文字が、最上段の青い部分の文字とな



り、そのホームページのタイトルとなる。

(4)いろいろと試す。

文字の大きさ以外に  も、上記のようなアイコンは箇条書きや連番、インデントなどの機能がある。実際に試して欲しい。横罫線は、仕切線として使われる。

ただし、フォントを変更した場合、表示するコンピュータにそのフォントがないと同じように表示されない。

次回は、画像を入れてみる。

蓮見 信夫 nobuo@hasumi.com

東京都板橋区立板橋第一小学校 教諭
立教大学文学部 非常勤講師